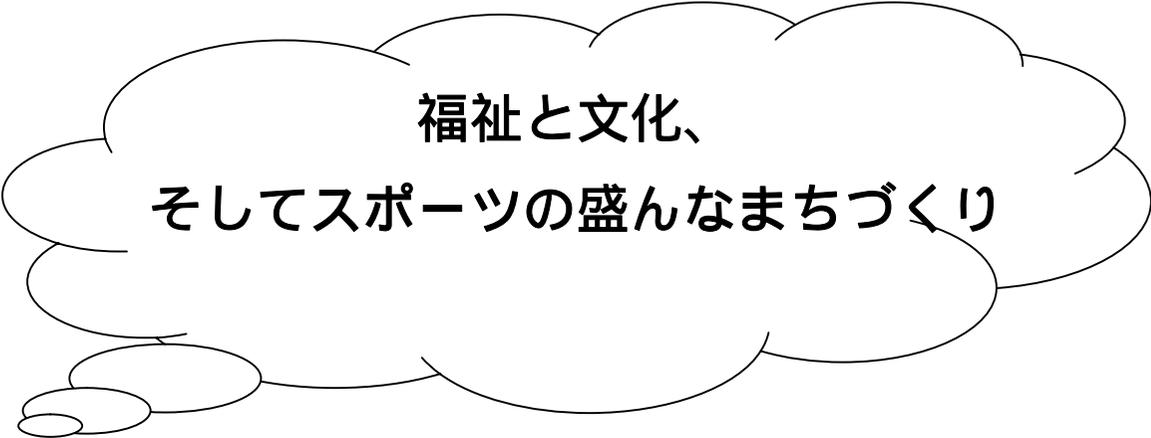


平成20年度

豊川市の予算の姿



福祉と文化、
そしてスポーツの盛んなまちづくり

「福祉と文化、そしてスポーツの盛んなまちづくり」を目指した予算

一般会計は1.9%減 443億3千万円

1 緊急地震速報受信装置の設置 ... P1

平成19年10月1日から実施されている気象庁の緊急地震速報の一般配信を受け、小中学校各1校、保育園1園に受信装置をモデル実験として設置

担当課 消防本部防災対策課 電話0533-89-2194(本編P7)

2 つどいの広場整備事業の実施 ... P2

子育て支援の中核的拠点として、プリオ5階催事場で開設している「つどいの広場」について専用スペースを整備し、同フロア内の子育て支援センターとの連携を深める

担当課 子ども課 電話0533-89-2133(本編P9)

3 病後児保育事業委託の実施 ... P3

市内に住所を有し、保護者の都合により家庭での保育が困難な病気の回復期にある生後4か月から小学校3年生までの児童を保育する病後児保育事業を医療法人鳳紀会可知病院へ委託

担当課 子ども課 電話0533-89-2133(本編P10)

4 交通バリアフリー推進事業の実施 ... P4

平成17年度に策定した「豊川市交通バリアフリー基本構想」をもとにし、「名鉄国府駅周辺地区」を重点整備地区としてバリアフリー化の推進を図る

担当課 都市計画課 電話0533-89-2147(本編P11)

5 アダプトプログラム事業の実施 ... P5

市が管理する道路、公園、河川等の公共施設を市民が美化ボランティアとなって管理し、市と協力し合い、まちの環境の美化を推進する

担当課 維持管理課 電話0533-89-2142(本編P11)

6 小学校英語活動推進事業の実施 ... P6

クラス担任が主導する英語活動や、AET(英語指導助手)や地域ボランティアとのTT(チーム・ティーチング)などを通じ、英語活動を中心に国際理解を深める

担当課 教育委員会学校教育課 電話0533-93-0152(本編P13)

7 学校サポーター事業の実施 ... P7

地域の教育力を学校に導入して、様々なボランティア活動(無償)をし、学校の環境整備や教育活動の充実を図るとともに、学校と地域が連携することにより、学校を核とした地域に根ざしたまちづくりを推進

担当課 教育委員会庶務課 電話0533-93-0151(本編P13)

8 伝統芸能交流事業の実施 ... P8

市内で唯一農村歌舞伎を継承している金沢歌舞伎をはじめとする市指定無形民俗文化財の公演を行い、市内各地区に残る伝統芸能を広く市民に公開する

担当課 教育委員会生涯学習課 電話0533-93-0153(本編P14)

9 「星野眞吾とパンリアル美術協会展(仮称)」の開催... P 9

開催期間

平成20年11月21日(金)～12月21日(日)

担当課 文化振興課 電話0533-85-3775(本編P14)

10 スポーツ選手ふれあい指導事業の実施 ... P10

日本のトップアスリートを招き、講話や実技指導を行う

担当課 教育委員会市民体育課 電話0533-93-0154(本編P14)

11 地球環境保全型畜産推進事業の促進 ... P11

平成20年度にバイオスタウン構想を策定し、その構想の一環として、刈草や剪定枝を対象とする堆肥化施設を計画

担当課 農務課：電話0533-89-2138 環境対策課：電話0533-89-2141(本編P15)

12 企業誘致推進事業の実施 ... P12

新しい産業の育成を図るとともに既存の地域産業を支援することで安定した地域の経済基盤を築き、自立的で活力あるまちづくりの創出に大きな役割を果たす企業誘致の積極的な推進を図る

担当課 企画課 電話0533-89-2126(本編P15)

13 商店街活性化対策事業の実施 ... P13

いなり寿司のブランド化に向けたPR事業、商店街・商店のPR事業などを実施

担当課 商工観光課 電話0533-89-2140(本編P16)

14 中心市街地活性化事業の推進 ... P14, 15

- ・TMOと協力して福祉ショップなどの運営支援を行う
- ・豊川稲荷表参道地区計画区域で商店街のファサード整備に係る補助制度を創設

担当課 まちづくり推進課 電話0533-89-2108(本編P16)

15 国際交流事業の推進 ... P16

- ・キュパティノー市で行われる姉妹都市30周年事業へ使節団を派遣
- ・多文化共生に係る充実した施策展開を実施

担当課 国際課 電話0533-89-2158(本編P16)

資料1 地震防災対策に4億4千4百万円 ... P17, 18

小中学校等の公共施設の耐震化

災害対策車整備事業など

- ・耐震関連事業費 3億8千2百万円
- ・防災関連事業費 6千2百万円

資料2 防犯対策に3千4百万円 ... P19

防犯対策補助金交付制度の実施

現職警察官の派遣受け入れ

安全なまちづくり推進連絡協議会への補助など

資料3 子育て支援に31億9千8百万円 ... P20, 21

子ども医療費の対象年齢を、通院は小学校3年生、入院は中学校3年生まで拡大するなど

緊急地震速報の受信装置を設置します

平成19年10月1日から実施されている気象庁の緊急地震速報の一般配信を受け、小中学校各1校、保育園1園に受信装置をモデル実験として設置します。

装置を設置することで、発生が危惧されている「東海地震」など、大災害を引き起こすとされる地震の主要動が到達する前に、情報をキャッチし、すばやく知らせることが可能となります。

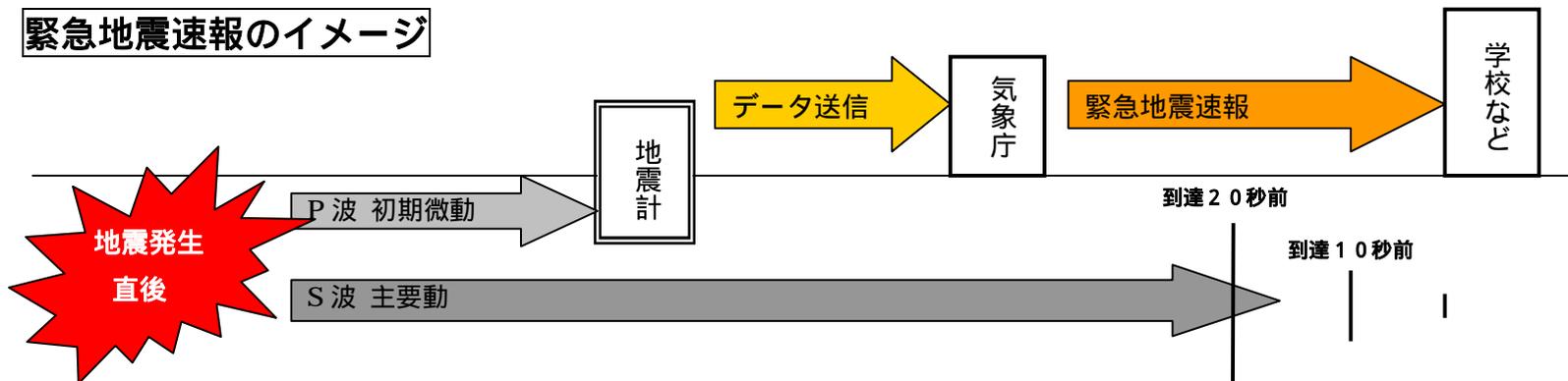
この情報を利用し、地震の前から護身行動を取ることによって、被害を軽減させたりすることが期待されます。

平成20年度は、緊急地震速報を利活用するためのマニュアルを作成し、設置施設において、速報受信時の対応行動訓練、防災訓練への組み込みなどを行い周知します。訓練の方法、職員や生徒等の行動のあり方などの課題を洗い出すことにより、今後の本格導入に向けたマニュアル作りを行います。

緊急地震速報とは

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限りすばやく知らせる情報です。

緊急地震速報のイメージ



病後児保育事業委託

保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図るため、市内に住所を有し、保護者の都合により家庭での保育が困難な病気の回復期にある生後4か月から小学校3年生までの児童を保育する病後児保育事業を医療法人鳳紀会可知病院へ委託します。

開設場所	医療法人鳳紀会可知病院 (豊川市国府町茶ノ休44-1)
開設日時	月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:30 (予定)
定員	4名
事業費	6,790千円(利用料を含む。)
開設予定	平成20年4月



国府駅周辺交通バリアフリー推進事業

本市では、平成17年度に「豊川市交通バリアフリー基本構想」を策定し、「名鉄国府駅周辺地区」を重点整備地区としてバリアフリー化の推進を図っています。

その中で、毎日多くの市民が利用している国府駅の「東西連絡通路」及び「駅前広場」のバリアフリー化を図るために、連絡通路へのエレベーター設置(2基)、駅前広場における多目的トイレ設置や段差解消等の工事を実施することとなりました。

この事業が完了すれば、19年度に駅構内で実施しているバリアフリー事業と合わせて、駅及び周辺施設のバリアフリー化は大きく前進し、利用者の利便性及び安全性は大幅に向上することとなります。

東西連絡通路のバリアフリー化

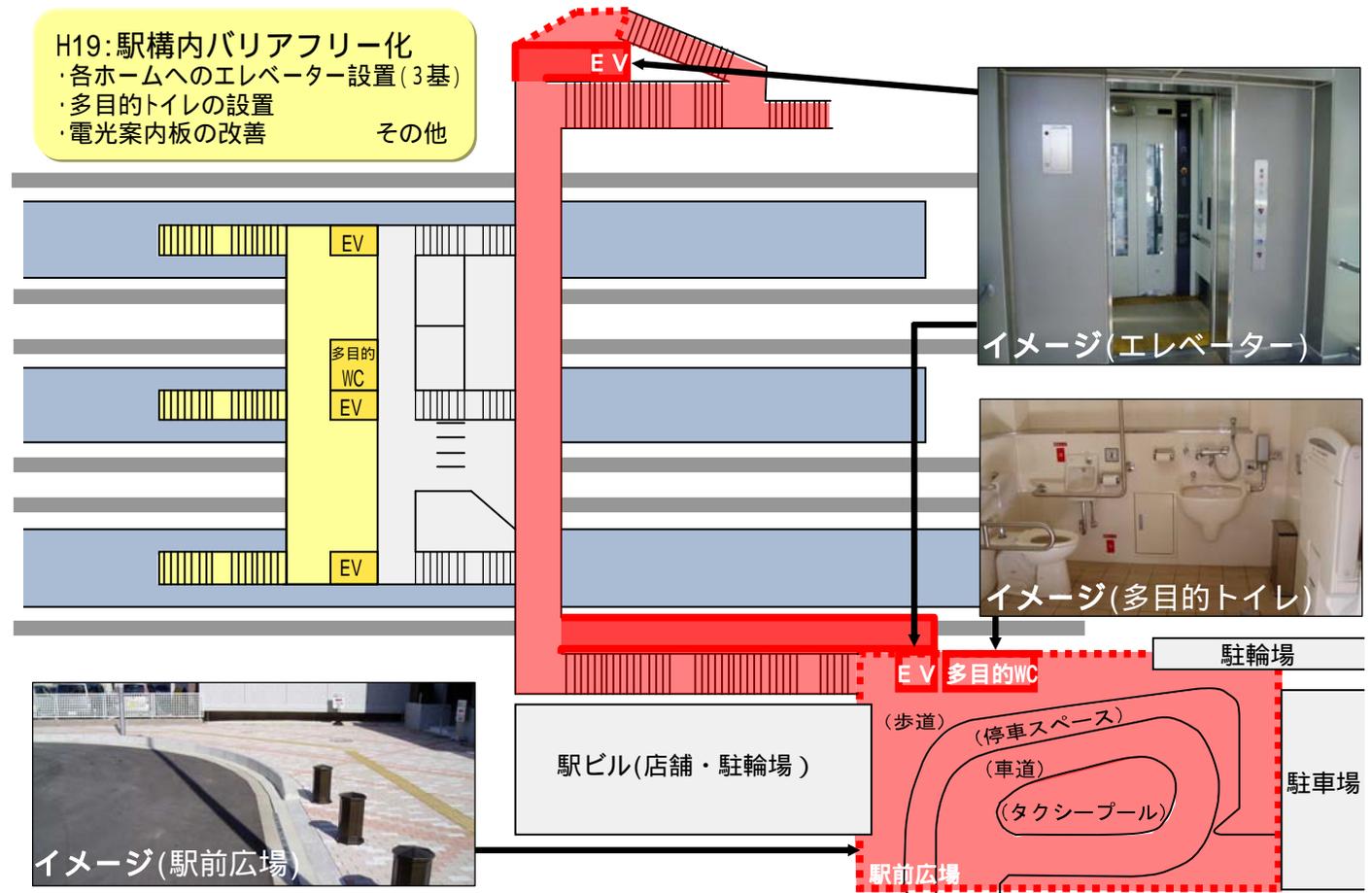
- ・連絡通路にエレベーター2基設置
- ・エレベーターへの誘導案内標識
- ・階段手すりの改修、点字表示
- ・通路手すり設置
- ・視覚障害者誘導用ブロックの敷設

駅前広場のバリアフリー化

- ・多目的トイレの設置
- ・歩道と車道の段差解消
- ・案内標識設置
- ・身障者用停車スペース設置
- ・通路屋根の設置
- ・視覚障害者誘導用ブロックの敷設

H19: 駅構内バリアフリー化

- ・各ホームへのエレベーター設置(3基)
- ・多目的トイレの設置
- ・電光案内板の改善
- その他



アダプトプログラム事業

市民と市が協力し合い、まちの環境の美化を推進していくため、市が管理する道路、公園、河川等の公共施設を市民が美化ボランティアとなって管理する制度です。

アダプトプログラムとは

ボランティア活動の新しい制度として、1985年にアメリカで始まったものです。

アダプトとは英語で『養子縁組をする』という意味で、アダプトプログラムは『里親制度』と訳されます。

具体的には、美化ボランティアとなる市民が「里親」となって道路、公園、河川等を自らの養子とみなして、清掃・美化などを行い、親が子供を大切にするように面倒を見るやり方をいいます。



美化ボランティア

活動区域(市道、公園、河川等) アダプトプログラム
空き缶・吸い殻・紙くず等の収集や除草
活動計画書・報告書(年1回)
その他必要な活動

協働

合意書の
取り交わし

豊川市

活動に必要なごみ袋・軍手等の提供
活動に対する補償(市民活動総合補償制度)
啓発、広報活動
アダプトサインの設置(希望する者)
その他必要な事項

美化ボランティアの対象者

市内に在住・在勤・在学する個人・事業者・団体

対象となる場所

道路、公園、河川等の公共施設が対象となります。但し、国・県の管理地の場合は、それぞれの管理者の制度が優先されます。

活動を始めるために

希望する活動区域を決め、市(維持管理課)にアダプトプログラム申込書を提出していただき、協議の上、合意書を取り交わします。

活動の内容

活動対象になった区域の空き缶・吸い殻・紙くず等の収集や除草や施設の破損状況等の報告など



小学校での英語活動の推進

平成23年度から小学校5・6年生では年間35時間の英語活動を行うこととなります。

市では「英語活動検討委員会」を中心に、体制を整えてきました。平成18年度に作成した「小学校英語活動の手引き」を中心に、担任が主導する英語活動やAET（英語指導助手）・地域ボランティアとのTT（チーム・ティーチング）などを通し、英語活動を中心に国際理解も進めていきます。

小学校の英語は「楽しく」がモットーです。
外国のビデオを見る、英語を使ったゲーム
英語の歌や踊り、あいさつなど体を動かし
「英語って楽しいな」と思える活動、わく
わくするような活動をしています。



学 校 サ ポ ー タ ー 事 業

地域に親しまれ、愛される学校づくりの一環として、学校サポーター(学校支援ボランティア)制度を創設します。地域の人々の持つ知識、経験、技術など、いわゆる地域の教育力を学校に導入して、様々なボランティア活動(無償)をしていただくことにより、学校の環境整備や教育活動の充実を図るとともに、学校と地域が連携することにより、学校を核とした地域に根ざしたまちづくりを推進します。

【サポーター活動の内容】

学校環境整備支援

校舎施設等の修繕、草取り、樹木の剪定、花壇の整備 等

教育活動支援

読み聞かせ、部活動指導、総合学習の講師、IT 関連補助 等

【サポーター登録の流れ】

年度当初に、サポーターの支援を希望する学校は、支援内容、支援期間、支援人数などを決定し教育委員会に連絡

教育委員会は、各学校からの希望内容を、広報誌やホームページを通して公募

学校の希望する内容でボランティア活動に協力したい人は、直接学校に応募

学校は、応募者の申請受付や面接を行い、サポーターを決定

教育委員会は、学校からの報告を受け、サポーターの認定及び登録を行い、登録証等を交付

サポーターは、学校の希望に沿ってボランティア活動を開始

読み聞かせボランティア



草取り作業ボランティア



伝統芸能交流事業

明治時代の農村舞台を今に残す赤坂の舞台（市指定有形民俗文化財）を会場として、市内で唯一農村歌舞伎を継承している金沢歌舞伎をはじめとする市指定無形民俗文化財の公演を行い、市内各地区に残る伝統芸能を広く市民に公開するものです。

なお、公演にあたっては、地元の小屋がけの会の皆さんにより、竹と丸太を用いてドーム状の屋根を形づくった特設の客席が設けられます。この小屋がけは、平成 18 年に 45 年ぶりに復活したもので、釘等を使わない伝統技術が継承されています。

公演予定：平成 20 年秋頃

会場：赤坂の舞台（杉森八幡社内）
豊川市赤坂町西縄手 15 番地

出演団体：金沢歌舞伎（金沢町）
ほか市内無形民俗文化財保存団体 2 団体

事業費：1,260 千円



赤坂の舞台と小屋がけ



金沢歌舞伎

「星野眞吾とパンリアル美術協会展（仮称）」開催要項

1 開催趣旨

豊川市牛久保町で生まれ育った郷土を代表する日本画家・星野眞吾は、戦後日本画壇の再評価がすすむなかでその活動が認められ、現在では全国の主だった美術館に作品が収蔵されています。

星野の画業は、京都の美術学校在学中に三上誠に出会ったことから始まります。終戦を迎え美術界でも新しい息吹を求めた団体が次々と再発足するなか、1949年に三上を中心として星野眞吾・下村良之介らで日本画の革新を目指す「パンリアル美術協会」を組織しました。彼らは日本画を「油彩画(ゆさいが)」に対し「膠彩画(こうさいが)」と呼び、次第に従来の絵画手法を越え、木やコンクリート、紙粘土などの素材を用いて、コラージュなどの実験的な試みを行いました。星野も和紙の抽象的なコラージュ作品を制作したのち、直接人型を画面に定着させる「人拓」を編み出し、また写実的な表現を採り入れるなど、それまでに無い斬新な作品を発表してきました。

本展では、この戦後日本画壇に一石を投じた「パンリアル美術協会」の活動を、1997年に74歳で逝去した星野眞吾の作品を中心として創立会員らの作品で俯瞰し、画壇に与えた影響とその存在を紹介するものです。

2 開催期間

平成20年11月21日(金)～12月21日(日)

3 観覧時間

午前9時30分～午後5時

4 会場

豊川市桜ヶ丘ミュージアム 常設展示室(1F)、市民ギャラリー(2F)

5 観覧料

600円(400円) カッコ内は前売り及び20名以上の団体料金、大学生以下は学生証の提示で無料

6 イベント

講演会、ギャラリートークなどを予定

7 主催

豊川市桜ヶ丘ミュージアム、中日新聞社

連絡先 企画部文化振興課 Tel.0533-85-3775 Fax.0533-85-3776

展示予定作品の抜粋です。



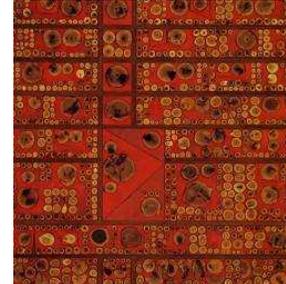
星野眞吾「約束A」京都国立近代美術館



星野眞吾「破局の譜」豊橋市美術館



下村良之介「池畔」京都市美術館



三上誠「作品64,5」福井県立美術館



大野秀隆「緋 24」京都市美術館

スポーツ選手ふれあい指導事業

日本のトップアスリートを招き、講話や実技指導を行います。

趣 旨

子どもたちの運動・スポーツ習慣の形成に向け、スポーツが本来持つ体を動かすことの楽しさを体験しスポーツに親しむことの動機付けとして、トップアスリートの豊かな経験と卓越した技術をもとに子どもたちに講話や実技指導を行います。



総合体育館で行われた卓球教室（平成18年度）

バイオマスタウン構想

1 はじめに

現在、廃棄物として処理されている未利用の有機物資源（バイオマス）は、地球温暖化防止、資源保全、ごみ減量の観点から資源として有効利用を進めていかなければならず、特に、現在焼却処理されている可燃ごみの中にあるリサイクル可能な草木や食品残渣などは適切な資源化を行い、地域で活用していくことにより、ごみ減量及びごみ処理コストの削減も図っていく必要があります。

本構想は、草木や食品残渣を含めた地域における総合的なバイオマス利活用に関する目標や方策を設定し、その事業を推進することにより、循環型社会の形成につなげていくことを目的とするものであり、バイオマスの利活用のための施設整備に関する検討、さらには資源循環型農業の推進を軸にした農業経営基盤強化策の検討も可能となっていくものです。

なお、バイオマスタウン構想策定にあたっては、農林水産省が所管する地域バイオマス利活用交付金のソフト支援にかかる補助を受けていく予定です。

2 具体的な取り組み

平成20年度に全体構想を策定し、その構想の一環として、剪定枝や刈草を対象とする堆肥化施設を計画していきます。

3 堆肥化施設整備

- ・ 公共用地の維持管理において発生する剪定枝や刈草
- ・ 家庭、事業所（農業を含む）から発生する剪定枝

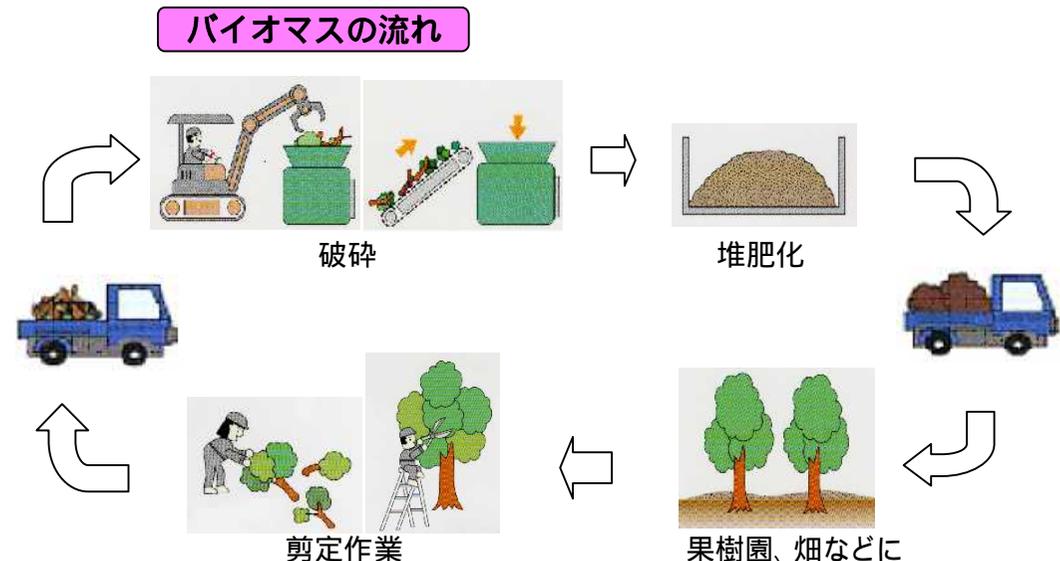
年間処理見込み量 4,000t

焼却ごみの約6.6%

小坂井町エリアからのものを含みます。

4 処理方法

- ・ 剪定枝のうち、チップ化利用可能なものは**破碎処理**で利用先に提供します。
- ・ その他のものは細破碎を行い、数か月かけて発酵させ、**堆肥化**していきます。



企業誘致推進事業

企業誘致の積極的な推進は、新しい産業の育成を図るとともに既存の地域産業を支援することとなり、安定した地域の経済基盤を築き、自立的で活力あるまちづくりの創出に大きな役割を果たすものです。

企業誘致における豊川市の優位性としては、抜群の交通アクセス、豊富な労働力、快適な生活環境、集積された企業群などが挙げられます。特に、東名高速道路のインターチェンジが2つあることと、製造品出荷額が1兆円を超える企業集積は、豊川市の絶対的な競争力であり、そうした地域特性を十分に踏まえてPR活動に取り組むことが重要だと考えます。

そして何より、企業が豊川市を選んで立地していただくためには、ワンストップサービス化を図るなど企業の目線に立った誘致活動が必要であり、お客様としての企業ニーズに的確に応えられるよう努めていきます。

情報収集

企業訪問やアンケート調査などを行い企業のニーズを把握するとともに、愛知県や豊川商工会議所などの関係機関と連携し、最新かつ有効な情報の収集に努めます。

企業誘致パンフレット作成

御津臨海地区の工業用地や優遇措置などを紹介するパンフレットを作成し、誘致活動を積極的に行います。

企業誘致説明会参加

企業誘致説明会に参加し、県内外の製造業を中心とした企業に、「豊川市の魅力」をアピールしていきます。



御津1・2区

“いなり寿司”全国発信!



豊川商工会議所が
ブランド化事業として商品化した
「豊川名物・いなり寿司」

豊川稲荷門前地域の各店独自の
創作いなり寿司

情報発信

観光協会ホームページ
リニューアル
(いなり寿司PRコーナー新設)



いなり寿司PR用
パンフレット作成



観光キャンペーン等
でのPR事業



PRグッズ作成



- ・豊川市観光協会への補助事業(補助額100万円)
- ・愛知県がんばる商店街推進事業費補助に申請予定

～ 福祉関係者、大学と連携したまちづくりを推進します～

市はTMOと協力して、「株豊川まちづくり そわか」が経営する「いっぷく亭」内の福祉ショップの運営支援、豊橋技術科学大学のサテライト研究室の支援を積極的に行います



株豊川まちづくり そわか

豊川地区の活性化を目的として、地元商店主が中心となり平成19年6月に設立されました。豊川稲荷門前地区の往年の賑わいの回復を目指し、文化教室などが行え、休憩所として利用可能な「いっぷく亭」を運営しています。今後は、この「いっぷく亭」を拠点として、豊川地区のまちづくりが展開されます。



福祉ショップ

背景

障害者自立支援法により障害者の施設利用料の負担が原則1割となり、施設で働くことで得られる賃金よりも施設利用料の負担が多くなってしまった現状があります。この状況を改善するために、障害者の工賃アップに繋がる自主製品の開発、販売経路の拡大が必要となっています。そこで、福祉と「そわか」が連携して工賃の倍増と豊川地区の活性化を目指し、福祉ショップを開設することとなりました。

目的とねらい

障害者施設の自主製品のPR及びブランド商品の開発 一般の消費者に向けて製品をPRするとともに、両者が共同して商品の開発や新たな事業展開を模索する
売上げ(工賃アップ)のための販路の拡大 販売箇所を増やすことで売上の増加をねらう
売れ筋商品を把握し、自主製品の開発のためのアンテナショップとして常設 消費者、商店主などから製品に対する意見を聞き、開発のためのデータ等の収集を行う



大学サテライト研究室

豊橋技術科学大学の「松島研究室」が豊川地区をモデルにまちづくりの研究を行っています。この研究は、主に「街並みの形成」を題材に景観に関するまちづくりの方向性について地元商店街とともに話し合いを行っています。市では、平成20年度から「商店街ファサード整備事業費補助金」を創設し、大学と連携して商店街の景観整備を行うこととしています。この活動の拠点となるサテライト研究室に対し積極的な支援を行っています。



商店街ファサード整備事業費補助金

ファサード整備社会実験による改修前・改修後



地元商店主らを中心にまちづくり活動が活発になっている豊川地区の観光商業活性化のため、豊川稲荷表参道地区計画区域で、商店街のファサード整備に係る補助制度を創設します。

平成18年度、19年度の2か年にわたり、豊川市開発ビル(TMO)が地元商店街と豊橋技術科学大学と協働して店舗改装の社会実験をしてきました。今後は、この結果を踏まえ、市の補助制度としてファサード整備を推進します。

ファサード整備を進めることにより、平成19年度に整備した市道稲荷通線と合わせ、豊川稲荷表参道としての風格が感じられる和風の街並み形成を推進します。



いなり楽市と整備後の市道稲荷通線



ファサード整備に関する会合の様子

多文化共生・国際交流



多文化共生に係る施策

既存の外国語版広報、スペイン語及び英語による暮らしの便利帳に加え、ポルトガル語による生活ガイドブックの発行を通じて情報発信の強化を行うとともに、外国人相談を通じて外国籍市民の生活をサポートし、豊川での生活に溶け込める充実した施策展開をしていきます。

(1) 生活ガイドブックの発行（ポルトガル語）

市内在住外国人の7割を占めるブラジル籍市民に向けて、暮らしの便利帳の内容に加え、日常生活全般における様々なルールにまで踏み込んだ、日本での生活における必需品となるガイドブックを発行します。

(2) スペイン語・英語版暮らしの便利帳

暮らしの便利帳の内容をベースに初めて日本に来た人にとっても理解しやすいようアレンジしたスペイン語・英語版暮らしの便利帳を発行し、ブラジル籍に次いで多い南米籍市民やフィリピン及びその他外国籍市民のための便利帳を発行します。

国際交流事業

(1) キュパティーノデー（仮称）の開催

11月に来豊予定のキュパティーノ市民使節団の歓迎と豊川市民との交流の場としてキュパティーノデー（仮称）を開催します。

(2) 国際理解推進事業費補助

1. 海外体験事業

各世代向けに現地訪問を通じた異文化理解、お互いの顔の見える交流を進めます。

体験学習ツアーinマレーシア（中学生以上）

夏休み期間に催行。現地にホームステイします。

インターナショナル・ユース・アカデミー（高校生）

夏休み期間に催行。現地にホームステイします。

姉妹都市提携30周年記念訪問事業（大学生～一般）

7月催行予定。姉妹都市であるキュパティーノ市へ市民使節団として訪問します。現地ではホームステイを通じてキュパティーノ市民との友好を深めます。

2. 国際理解講座

テーマごとに90分×5回の連続講座を昨年度に引き続き実施します。海外事情を学ぶことを通じて市民の国際性を養います。

テーマ（予定）：中国の文化・歴史を中心に

フェアトレードと持続可能な社会
不思議な英語の世界 冠詞のなぞ

資料1 耐震関連事業一覧

(単位:千円)

担当課	事業名	事業内容等	予算額
維持管理課	橋りょう耐震対策事業	岡本橋・国府橋・堺橋 (3橋):下部工 鳴戸橋・山下橋・十王橋・玉袋橋(4橋):上部工	79,200
維持管理課	既設都市公園段差解消事業	萩山・野中・能仁堂(3公園)	1,800
維持管理課	既設都市公園トイレ改修事業	萩山・野中・桜木 (3公園)	15,000
建築課	民間木造住宅耐震診断委託	民家170戸(30千円)	5,274
建築課	民間木造住宅耐震改修費補助	民家20戸(600千円)	12,000
庶務課	校舎耐震補強工事実施設計	千両・代田・金屋の3小学校及び代田・金屋の2中学校	37,700
庶務課	校舎耐震補強工事	三蔵子・牛久保・天王の3小学校	230,600
合 計			381,574

資料1 防災関連事業一覧

(単位:千円)

担当課	事業名	事業内容等	予算額
財政課	災害対策車整備事業	1台購入	1,200
子ども課	公立保育所管理運営費	救護用具格納庫 金沢・一宮西部・東上	459
介護高齢課	災害時要援護者登録台帳作成事業	台帳作成に伴う封筒及び郵送代(要援護者、民生委員等)	361
介護高齢課	災害時要援護者家具転倒防止器具取付	65歳以上の一人暮らし高齢者、要介護(3~5)高齢者世帯への家具転倒防止器具取付	1,072
福祉課	災害時要援護者家具転倒防止器具取付	身体・知的・精神障害者世帯への家具転倒防止器具取付	528
建築課	応急危険度判定用資材購入	下げ振り・巻尺・コンパス等	35
消防本部防災対策課	防災一般事務費	デジタル防災無線保守点検 4,796千円 防災情報提供事業費 1,827千円 家具転倒防止事業委託料 500千円 東三河地域防災研究協議会負担金 2,349千円 愛知県防災行政無線運営協議会負担金 5,711千円	20,180
消防本部防災対策課	防災訓練費	倒壊小屋・仮設訓練塔設置委託等	1,399
消防本部防災対策課	自主防災会活動推進費	自主防災会防災倉庫設置費補助 250千円 自主防災会防災訓練推進交付金 1,500千円	1,750
消防本部防災対策課	防災啓発関係費	防災ボランティアコーディネーターフォローアップ研修	100
消防本部防災対策課	防災会議委員報酬等	14人×2回	241
消防本部防災対策課	防災行政無線整備事業費	移動系防災行政無線設計委託	3,200
消防本部防災対策課	防災施設等整備事業費	備蓄用消耗品費 10,778千円 防災倉庫設置工事費 6,400千円 備蓄用備品購入費 10,000千円 緊急地震速報受信装置設置事業費 4,083千円	31,261
合 計			61,786

資料2 防犯対策関連事業一覧

(単位:千円)

担当課	事業名	事業内容等	予算額
人事課	県派遣職員負担金	現職警察官派遣 1名	10,983
生活活性課	防犯ボランティア養成講座	一般市民向け 2回	50
生活活性課	防犯啓発パトロール事業	豊川市全域 1小学校区当り 30回	4,630
生活活性課	備品購入	ネットランチャー(音羽・御津 小中学校・保育園・児童クラブ)	437
生活活性課	負担金、補助及び交付金	防犯灯電気料金補助 6,421千円 防犯灯設置費補助 3,389千円(国費332千円充当) 豊川宝飯防犯協会連合会補助 2,100千円 防犯対策費補助 2,200千円 安全なまちづくり推進連絡協議会補助 1,225千円	13,149
生活活性課	防犯ボランティア活動支援用資機材給付及び啓発物品等購入	防犯ボランティア活動支援資機材の給付 (ベスト、腕章、信号灯) 啓発用ポケットティッシュ、新学童携帯ブザー	2,226
生活活性課	需用費	防犯灯電気料金(一宮) 560千円 防犯灯修繕料(一宮) 548千円	1,108
生活活性課	その他	旅費、安全パトロール車保険料等	623
庶務課	小中学校防犯対策事業費	防犯メールとして不審者情報などを携帯メール等に送信	1,186
合 計			34,392

資料3 子育て支援に係る事業一覧

(単位:千円)

担当課名	事業名	内容等	予算額
子ども課	児童手当	児童の健全な育成及び資質の向上、小学6年生まで対象 3歳未満:一律1万円 3歳以上:第1子・第2子5千円 第3子以降1万円	1,364,040
子ども課	児童扶養手当	母子家庭の自立生活支援及び子育て支援	523,200
子ども課	遺児の育成をはかる手当	母子家庭の自立生活支援及び子育て支援(市単独事業)	51,118
子ども課	家庭児童相談室事業	少年愛護センターと連携し、家庭における児童の養育上の様々な悩みの相談に応じる	1,575
子ども課	第三子保育料無料化事業	3人以上の児童を養育している世帯の第三子以降の3歳未満児の保育料を無料化する 歳入影響額 20,785千円	-
子ども課	保育サービス向上支援事業	保育運営における問題点を把握し、保育サービスの質的向上に結びつけ、また結果を公表することにより、保護者の適切な保育サービスの選択に資する 公立:4園 民間:3園	1,838
子ども課	放課後児童健全育成事業 (児童クラブ)	小学校低学年児童クラブ全小学校区で実施・・・保育協会等に委託	106,006
子ども課	子育て支援短期利用事業	家庭の事情により、一時的に児童(母子含む)を生活援助・養護する	393
子ども課	母子生活支援施設実施事業	家庭の事情により、一時的に母子を生活援助・養護する	7,659
子ども課	自立支援教育訓練給付事業	母子家庭の母等が職業能力開発のための講座の受講費用を給付	192
子ども課	高等職業訓練促進給付事業	母子家庭の母等が自立に有利な資格(看護師・保育士等)を取得するために養成機関で就業する場合一定期間給付金を給付	4,944
子ども課	常用雇用転換奨励給付事業	母子家庭の母等をパートタイムから正社員に転換した場合、6か月後事業主に奨励金を給付	600
子ども課	つどいの広場事業	NPO法人に委託しプリオ5階で主に未就園児を対象とし、子育て育児支援等の事業を実施する	35,710
子ども課	育児支援家庭訪問事業	産褥期に不安を抱える母親等の育児支援をする	1,144
子ども課	要保護児童対策地域協議会事業費	要保護児童対策等を地域で連携し行っていく	187
子ども課	次世代育成支援対策地域協議会費	策定された次世代育成計画が効率よく機能しているかを協議会で確認	89
子ども課	子育て支援センター事業	育児相談、子育てサークルの情報交換 (変更) ・子育て支援コーディネーターの配置 ・子育てサークル支援として定例的に講習会を実施	6,882
子ども課	ファミリーサポートセンター事業	子どもを預けたい人と預かりたい人の仲介	3,371
子ども課	交通児童遊園管理運営費	(株)プロケアに指定管理	9,756

資料3 子育て支援に係る事業一覧

(単位:千円)

担当課名	事業名	内容等	予算額
子ども課	さくらぎ・うしくぼ・さんぞうこ児童館運営費	(株)プロケアに指定管理	19,951
子ども課	いちのみや児童館運営費	(株)プロケアに指定管理	7,493
子ども課	あかさか児童館運営費	直営	6,686
子ども課	あかね・さわき・ひろいし児童館管理費	豊川市社会福祉協議会に指定管理	15,997
子ども課	私立幼稚園就園奨励費補助	私立幼稚園に子供を通わせる保護者に対して金銭的負担を軽減させるために、保護者の所得金額に応じ て補助	86,085
子ども課	子育てサポート事業	2歳児歯科健診時に子育てネットワーカーを活用	230
子ども課	ブックスタート事業	4か月児健診に読み聞かせとブックスタートバック配布	1,766
子ども課	読み聞かせ教室事業	公民館等で読み聞かせ教室を開催 豊川: 4地区(御油・八南公民館・国府東・桜町市民館) 一宮: 1地区(生涯学習会館)	60
福祉課	ひまわり園利用者負担金補助事業	ひまわり園を利用する保護者の負担を軽減するため補助	2,447
保険年金課	子ども医療費	通院は小学校3年生(市単)、入院は中学校3年生まで	561,130
保険年金課	母子家庭医療費	母子家庭医療費対象	111,214
保健センター	予防接種事業費	B C G、ポリオ、2・3種混合、日本脳炎、風疹・麻疹 インフルエンザ予防接種委託料55,009千円除く	168,591
保健センター	母子保健事業	4か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、妊婦健診、子育て教室、育児相談等	95,200
保健センター	こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月の第1子がいる家庭への全戸訪問	1,838
環境対策課	生活排水対策推進事業費	学習会用実験資料(ピーカー、スポイト等)を小学校へ配布し、水の汚れを調べる	80
環境対策課	こども環境学習体験講座事業費	環境ボランティアを講師とし、豊川源流探検・森を守る活動体験、豊川・佐奈川水生生物調査など(案)を行 い、環境学習の機会を提供	105
生涯学習課	少年愛護センター事業	家庭児童相談室と連携し、乳幼児から未成年者に係る悩み事の相談に応じる ・少年指導委員 222名(見込み)	1,325
合 計			3,198,902